「東小倉小学校避難所運営会議」議事録

文責；佐々木　繁
＊ゴシック文字；補足説明

開催日時　　平成23年11月29日（火）19:00～20：30
場　所　　東小倉小学校　校長室
出席者　　鹿島田町内委員5名　　東小倉町内委員3名（3名欠席）
　　　　　ﾊﾟｰｸｼﾃｨ新川崎町内委員3名（3名欠席）　東小倉小学校　教職員7名

配布資料

①　避難所運営会議組織図(案)　　②　東小倉小学校避難所平面図〈色別区分図〉
③　東小倉小学校　構内図　　④　東小倉小学校体育館避難者収容ｽﾍﾟｰｽ図(2葉)
⑤　防災無線取扱説明書

議　事

委員長挨拶（東小倉町内　成川委員長）
施設管理者挨拶(東小倉小学校　榊原校長先生)
審議事項

１．避難所門扉および体育館入口の鍵保管状況
①鹿島田町内　11/16　2本入手済み　　開錠操作確認済み
　保管場所；竹内町会長宅　　水元防災部長宅
②東小倉町内　3本保管　　開錠操作確認済み
　保管場所；成川町会長宅　横内防災部長宅　町内会会計宅
③ﾊﾟｰｸｼﾃｨ新川崎　　1本保管　　開錠操作確認済み
　保管場所；管理防災ｾﾝﾀｰ
・避難者収容ｴﾘﾔ第1次設定場所の内、多目的教室入口の鍵の貸与については小学校側で検討する。

２．避難所運営組織及び役割分担
①組織；配布資料「避難所運営組織図(案)」を基に組織系統および各班の役割を確認した。
②役割分担；各人の希望を一部変更した「避難所運営組織図(案)」に示す分担で決定した。
　＊組織図は先に配布した運営会議委員名簿の最終版と一括したものを次回に配布する。

３．小学校内の避難所として使用可能なｴﾘﾔおよび体育館収容ｽﾍﾟｰｽ
配布資料「東小倉小学校避難所平面図」「同　構内図」「同　体育館避難者収容ｽﾍﾟｰｽ図」を基に説明
・避難者収容場所；第1次設定場所については町内の運営会議の判断で使用可とするが、第2次・第3次設定場所については学校側と協議して使用する。
・第1次設定場所の内、多目的教室の使用については、別途、検討する(例；要援護者を優先収容する等・・・・)
・ﾌﾟｰﾙは通年貯水してあるのでﾄｲﾚ洗浄水等に使用可能である。(貯水量≒275 ㎥)
・体育館収容ｽﾍﾟｰｽ
　体育館内の収容ｽﾍﾟｰｽは台車等の通路を確保して3.8m×7.2m×12ﾌﾞﾛｯｸを確保可能
　全体ｽﾍﾟｰｽ＝529.2 ㎡　　避難者居住ｽﾍﾟｰｽ≒328 ㎡　収容人員≒120名
　＊多目的教室の収容については、未だ、具体的な検討は行っていない。

４．防災無線の使用方法

防災無線装置の配置場所＝職員室ｸﾞﾗﾝﾄﾞ側の窓際

取り扱い方法は配布資料「防災無線取扱説明書」を参照してください。

なお、12 月 1 日 9:00～区内の学校(避難所)で通報のﾃﾞﾓが行われるので可能な人は立ち会ってください。

５．防災備蓄品

・塚越中学校の防災備蓄品 11／11 に一部の委員が確認した。

備蓄品ﾘｽﾄは第 1 回会議で配布済みですが、備蓄物、備蓄量および受渡ﾙｰﾙ〈未定〉等を考えると発災時の用品として期待することは多少疑問である。

・東小倉小学校防災備蓄品

現在、備蓄品は無いが今年度中に次の物が配備される見込みである。

五目ご飯＝50 食×24 箱　　おかゆ＝50 食×3 箱　　毛布=10 枚×54 箱　災害ﾄｲﾚ＝6 基

他に市側(危機管理室)でｴﾝｼﾞﾝ発電機、投光器の配置を検討している。

・小学校備蓄品収納場所

現在、配備される備蓄品の収納場所として多目的教室前の階段室を予定しているが、小学校側で収納ｽﾍﾟｰｽ、利便性等を併せて再度、場所について検討する。

・当避難所として必要と思われる防災備蓄品について各委員から提言された。

これらについては一覧表に取り纏め、次回以降に必要度、必要数量、配備財源、収納場所等について意見交換する。

＊一覧表は次回配布予定

６．町内 1 次避難場所について

各町内で 1 次避難場所が定められているならマップに落とし込んだら如何かと言う意見が出された。

鹿島田町内；7 か所指定済み　　　　東小倉町内；指定場所なし

ﾊﾟｰｸｼﾃｨ新川崎；5 街区の内、一部の街区で指定されている。

本件については、今後の課題とする。

以上

次回運営会議　　開催日時　　12 月 15 日(木)　18:00～19:00

場　　所　　ﾊﾟｰｸｼﾃｨ新川崎　B 棟大集会室

運営会議終了後､同所で懇親会を開催します。